

かけはし通信

藤枝市こども課

令和8年度 第2回かけはし連絡会を開催しました



令和8年8月6日(木)に青島北地区交流センターで「第2回幼保こ小連携推進事業(かけはし)担当者連絡会・合同研修会」を開催しました。内容は以下の通りです。

第1部 講演 演題「こどもの学びと育ちをつなぎ、人と人をつなぐ架け橋プログラムに！」

講師 藤枝市幼保こ小架け橋プログラム推進委員会アドバイザー 杉本和也 氏

第2部 グループ協議(小学校区毎)

- ・かけはしサポーターと園職員との顔合わせ
- ・10の姿からみる学びのつながりについて
- ・情報交換及び今後の交流について

当日は、園職員37名、小学校教員17名、かけはしサポーター(小学校配属の支援員)26名が参加し、総勢80名の活気にあふれた研修会となりました。また、第1部の講演については、リモート配信も行い、小規模園を含む29施設でも聴講されました。

第1部講演の内容

「こどもの学びと育ちをつなぎ、人と人をつなぐ架け橋プログラムに！」

- 1 倉橋惣三著「育ての心」より
- 2 はじめての1年生担任
- 3 架け橋プログラムとは
 - ・架け橋プログラムによる成果・変化と課題
 - ・こどもの姿を真ん中に据えた対話と協働が成功のカギ
- 4 スタートカリキュラムの進化について
 - ・スタートカリキュラムの作成・見直し
 - ・スタートカリキュラム策定のよさ・効果
- 5 架け橋プログラム推進上で大切にしたいキーワードは？
 - ・こどもを真ん中にして、こどもの姿から考える
 - こどもの「～したい」(主体性)
 - 「楽しい」(満足感・達成感)
 - 「こどものすることの面白さを見つけること」が肝
 - 主体的(で深い)学び個別最適な学び子どもの学びをつなげる
 - ・こどもの「安心感」の醸成
 - 安心の基地、安全な避難所
 - 「学びと生活の基盤」を全てのこどもに保障するのが架け橋期
 - 一人ひとりの多様性に配慮、保護者の安心感との相乗効果
 - ・こどもの「仲間づくり」と大人の協働

講師:杉本和也氏



こどもの示す表現には、必ず「根」と「芽」がある。

第2部のグループ協議では、講話から学んだことをふまえ、動画から「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を見取り、小学校の学びにどのようにつながるかについて協議しました。小学校教員、園職員、かけはしサポーターの視点でこどもの姿を語り合うことで、様々な気づきがありました。

どろだんごをつくらう

① こどもは夢に夢中（すごい、ふしぎ、おもしろい、楽しい）になっているのか？
 ② 遊びを通して、どんなことを学んでいる、どのような力が育とうとしているのか？
 ③ この姿が小学校でのどんな学びにつながっていくのか？

グループ

ア 健康な心と体	何に夢中になっているか？ すごい ふしぎ 楽しい おもしろい！	カ 思考力の芽生え
イ 自立心		キ 自然との関わり・生命尊重
ウ 協同性	【グループワークの手順】 ① VTR 中のこどもたちは、何に夢中になっているか、真ん中のスペースへ（緑の付箋） ② 遊びを通して、どのような力が育とうとしているのか、10の姿に分類 ピンク付箋＝園 水色付箋＝かけはしサポーター ③ この姿が小学校でのどんな学びにつながるのか、10の姿に分類 （黄色付箋＝小学校）	ク 数量、図形、文字への関心・感覚
エ 道徳性・規範意識の芽生え		ケ 言葉による伝え合い
オ 社会生活とのかわり		コ 豊かな感性と表現

どろだんごをつくらう

① こどもは夢に夢中（すごい、ふしぎ、おもしろい、楽しい）になっているのか？
 ② 遊びを通して、どんなことを学んでいる、どのような力が育とうとしているのか？
 ③ この姿が小学校でのどんな学びにつながっていくのか？

グループ

ア 健康な心と体	何に夢中になっているか？ すごい ふしぎ 楽しい おもしろい！	カ 思考力の芽生え
イ 自立心		キ 自然との関わり・生命尊重
ウ 協同性		ク 数量、図形、文字への関心・感覚
エ 道徳性・規範意識の芽生え		ケ 言葉による伝え合い
オ 社会生活とのかわり		コ 豊かな感性と表現



グループ協議では、「園での遊びが小学校の学びにつながっているのですね。」「園で『～したい』を大切にしていることが、学びの意欲の源になっているのですね。」「遊びの中で、様々な力が育まれているのがわかりました。」などの意見が出されましたが、次第に動画から離れ、「うちの園でもこんな姿があって」と実際のこどもたちの話題になっていました。

幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ

幼児教育施設・小学校での入園・入学説明会、保護者会、研修等や自治体主催の教職員研修など幅広く御活用ください。
 ※本動画の複製、転載、引用等の際には出典を明記することが必要です。



幼児教育は何のため？（約2分）
<https://youtu.be/MExUaZ6M3G0>
 幼児期の大切な学びが分かる動画



「遊びは学び」ってどういうこと？（約7分）
<https://www.youtube.com/watch?v=UxfAJ3XWfGo>
 幼児教育施設においては、子供たちに遊びを通して資質・能力を育んでいること等について、子供たちの遊んでいる姿や幼児教育施設と小学校の先生のインタビューを交えながら解説しています。



「学びの芽」を育む園の工夫って？（多様な遊び編）（約9分）
<https://youtu.be/VNjOwpuDd44>
 幼児教育施設では、多様な遊びの中で、どのように子供たちの資質・能力を育んでいるのか、園長先生とベンちゃんガオムバス形式で解説しています。



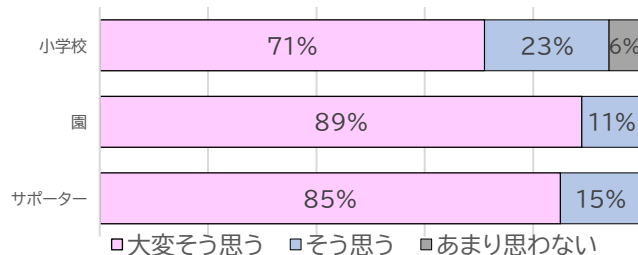
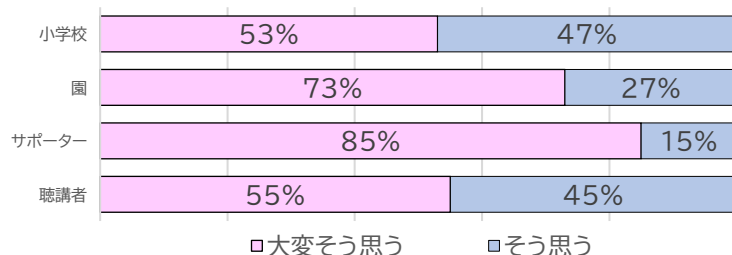
「学びの芽」を育む園の工夫って？（どろだんご遊び編）（約7分）
<https://youtu.be/VuIP2CUKa-U>
 どろだんご遊びの中で、どのように資質・能力が育まれているのか、解説しています。



【参加者アンケートより】

★ 本日の講話について
 今後の参考になりましたか？

★ 本日のグループ協議は
 有意義でしたか？



★ 講話についての感想（抜粋）

- ・主体性を大切にといわれている中で、それを小学校へとつなげていくために、今私たちができることは何だろうと改めて考える機会となりました。こどものころもちにふれる、こどもたちは今どんなことを感じているのだろうと**共感して一緒に楽しめる存在でありたい**と改めて思いました。何年もやっていると、なんとなくこうなるかな、と見通してやっていきますが、もしそうならなかった時を面白い!とこどもたちと一緒に楽しんでいきたいと思います。【園】
- ・お話を聞いて小学校と園が目指しているところ、育てたいこどもの姿は同じなんだと改めて思いました。こどもが〇〇したいと自ら感じ、学び（遊び）、試行錯誤しながら力をつけていく。**教師が教えるのではなく、こどもが学ぶ**という視点をこれからも大切にしていきたいです。【学校】
- ・教育（こどもの学び）は小1から始まるものではなく、それ以前から地続きであるということを改めて知っただけでなく、生きる力を育てる保育、教育に関わる方々のそれぞれのおもいを実際に知ったことは大きな学びとなりました。つい短期的な視点から捉えがちですが、同時に長期的なねらいを確認することができたので、2学期からの**こどもたちへの接し方を自分なりに見直して**いきたいと思います。また、園の先生方と顔合わせができたことは、3学期からの園訪問の不安を軽減してくれ、大変楽しみとなりました。【かけはしサポーター】
- ・小規模保育園なので、0歳から3歳までしかいないのですが、土台になる時期と言う事で、興味深く聞かせていただきました。こどもたちが主体性を持ち、安心感を育てていけるよう、職員にも今日のお話を共有していきたいと思います。また、遊ばせるのではなく、こどもたちが**主体的にいきいきとして遊べる環境設定**にも、工夫しながら取り組んでいきたいと思います。

【小規模園】

★ VTR 映像から10の姿について共有するグループワークについてわかったことや課題

- ・泥だんご作りをテーマにし、こどもの夢中になっている姿をたくさん見ることができた。園では主体的な遊びをメインに考え普段保育しているが、それが、小学校へ行った時の繋がりなどは考えたことがありませんでした。しかし、今回の研修で、**小学校の授業だったり、生活だったりにつながると知り、幼児期の遊びの大切さや必要性**を感じました。【園】
- ・どろだんごの奥深さとこどもが夢中になるための環境づくりについて考えることができました。10の姿は見たことはあるけれど一つ一つを捉えて考える機会がなかったので、グループワークを通して**10の姿の内容や幼保から小学校への連携**についてよくわかりました。【学校】
- ・10の姿は具体的には知らない事だったので、**ひとつの泥団子のテーマに対してたくさんの学びをこどもたちがしていることに驚き**ました。ひとつの気づきでも、1つではなく、2つの姿が重なり合ってるような行動や言動もあり、**こどもの行動や心の動きは繋がっている**んだなと感じました。また、学校の先生の視点では、小学校の授業ではこの活動に繋がるということも分かり、こどもが成長していくうえで、色々な経験をすることは大切だなと感じました。

【かけはしサポーター】

★ 本日の連絡会全体を通じて感じたこと

- ・他の園や小学校の内容を知ることができ、大変貴重な時間となりました。**園内の架け橋の担当として、今の小学校はこうなっている、園はこういった力を伸ばしていく、と具体的に考えられるようになってきたようにも感じます。**今後も参加させていただきたいです。【園】
- ・この会を通して**園への垣根？ハードルが下がったように感じます。**定期的な開催がありがたいです。コーディネーターだけでなく参加の方の幅が広がっていくとよりいいのかなとも思いました。【学校】
- ・幼保こ・小・かけはしサポーターのつながりを積極的につくってくださることで、幼保この先生方も支援の仕方をアップデートでき、小学校生活がスムーズにスタートできるのだと思いました。1月から始まる幼保こへの訪問が来年度の1年生にとって有意義なものになるよう、**かけはしサポーターとしての仕事内容をもう一度きちんと理解していきたい**と思いました。

【かけはしサポーター】

★ 第1回かけはし連絡会（5/26）以降、取り組んだことがあれば教えてください。

園

- 幼稚園、こども園、保育園との交流会を行って、横のつながりができた。11月には一緒に小学校へ遊びに行くので、こどもたちは、とても楽しみにしている。
- 同じ小学校区の園と交流の計画を立て、11月に実施予定である。
- 同じ小学校区での幼稚園、保育園、1年生との交流
- 小学校の授業参観に園児を連れて見学出来ました。
- 他園と合同の水遊び。
- 研修のあり方や、進め方など今一度園職員と話し合った。
- 小学校の朝の様子を、全職員が交代で見に行きました。これからの保育の参考になると思います。
- 小学校との交流だけでなく、近隣の幼稚園、こども園との交流、園のランドデザインの見直しや園内研修の充実
- 情報交換会に参加。園内で架け橋期について考えや状況を共有する場を設ける。
- 小学校の授業参観。入学後の姿を見せていただけた、実際に担任の先生とお話させていただけたので良かったです。
- 年間計画の見直し（年長児の学校見学など）をしている
- 小学校への参観は正規職員全員が実現できました。

小学校

- 園児が運動会の練習や授業を参観
- 小学校1年生と年長のこどもたちと、生活科の夏と遊ぼうの単元で、しゃぼん玉や水鉄砲をやって、遊びました。
- プレイルームの様なあそびスペースを作成中。泥遊びを思いっきり行いました。
- 「園ではどんなことやった？」と聞いてみた。
- 小学校職員の保育参加
- 前年長児担任の授業参観・情報交換会
- 園との研修会の打ち合わせをしました。
- 音楽集会に向けての交流の日程を決めた。
- 夏休みに、先生方を3つの保育園に分散して見に行ってもらい、その後、どんなことに気づいたか交流の場を持った。
- 中学校区の3校合同研に幼保の先生方も参加して下さり、鈴木英司先生のお話を伺ったあと感想を共有した。今後、職員の保育園参観を計画している。

●こどもの交流 ○職員の交流・研修

今回の研修会では、園で遊びを通して大切に育まれている学びの芽が、学校での主体的な学びにつながっていくことを講話やグループ協議を通して実感していただくことができました。小学校の先生方が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を理解し、これを踏まえて生活科や他教科の単元計画や環境設定をしていくことが大切だと思いました。

